故障かな？と思ったときは

設置や使用に関して緩みや破損など異常を感じた際は、使用を中止し販売店か株式会社映像センターにお問い合わせください。

○スクリーンにたるみが出る
⇒平らな場所に設置されているか、ジョイントのネジが緩んでいないか確認ください。

○スクリーンが巻き取れない
⇒スクリーンが左右に偏らずに、まっすぐに巻き取られているか確認してください。
バランス良く入らない場合でも不良ではありませんので、巻き取られない場合は一旦スクリーンを引き出した後まっすぐゆっくり降ろしてください。

AVC 株式会社 映像センター
AUDIO VISUAL COMMUNICATIONS LTD.

http://www.avc.co.jp/

■システム販売事業部
＜首都圏＞ 〒135-0063 東京都江東区有明 3-7-18 有明セントラルタワー 8 階 TEL03-3527-8660 FAX03-3527-8666
＜関　西＞ 〒564-0062 大阪府吹田市垂水町 3-18-25 TEL06-6836-7827 FAX06-6310-6144

■本社オフィス 〒135-0063 東京都江東区有明 3-7-18 有明セントラルタワー 8 階 TEL03-3527-8571 ㈹ FAX03-3527-8580
■大阪オフィス 〒564-0062 大阪府吹田市垂水町 3-18-25 TEL06-6836-7591 ㈹ FAX06-6310-6144
■名古屋オフィス 〒460-0012 愛知県名古屋市中区千代田 3-31-25 TEL052-322-5791 ㈹ FAX052-322-0219
[関連会社] ■広州愛惟希会展服務有限公司（広州・北京・上海）■HONG KONG AVC LIMITED（香港）

保　証　書

品名

ご購入日

取扱店

保証期間 ご購入日より	1 年間

1.保証期間内に、取扱説明書本体ラベルなどの注意書に従って正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき、無料修理いたします。

2.保証期間であっても次の場合は有料修理となります。
(1)この保証書の提示がない場合。
(2)保証書に、ご購入の年月日、お取扱店名の記載がない場合、および保証書の字句を書き換えられた場合。
(3)改造または不当な修理による故障および損傷。
(4)ご購入後の移動、輸送、落下などによる故障及び損傷。
(5)火災や天災などによる故障及び損傷。
(6)消耗品の交換

※この保証書は日本国内においてのみ有効です。
Eec tive only in japan

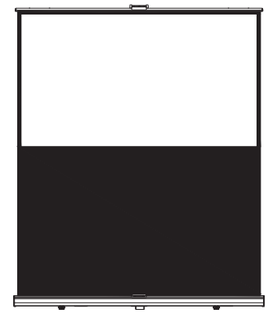
この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありあせんので保証期間経過後の修理などについてごふめいの場合は、販売店または当社の営業ニお問い合わせください。

販売情報欄

FORBEC

モバイルスクリーン取扱説明書

MSL-60V/MSL-80V
MSL-100V/MSL-80X



このたびは、モバイルスクリーンをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
正しくご使用いただくために、ご使用前に必ずこの説明書をお読みください。なお、お読みになられたあとも、保証書とともにお使いになる方がいつでも見られるところに大切に保管してください。

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、使用方法や設置方法の誤りによって生じるお使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
ご使用上の不備又は天災などによって生じた事故・損傷については、一切責任を負いかねます。

⚠ 警告	誤った取扱をしたときに、死亡または重傷を負う可能性があるもの
⚠ 注意	誤った取扱をしたときに、使用者が傷害を負ったり、物的損害の可能性があるもの

絵表示例と絵表示意味

⃠	記号は、禁止の行為である事を告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。
●	記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。

⚠ 警告

分解・改造しない
修理技術者以外は分解したり修理をしない
事故やケガの原因となります。修理はお買い上げの販売店または株式会社映像センターにご相談ください。

熱器具に近付けない
ストーブやヒーター、スピーカーアンプなどの発熱器具の近くに設置すると火災の原因となることがあります。

持ち運ぶ際にしっかりケースに収納する
拡げたまま持ち運ぶとスクリーンが汚れたり、パンタグラフ・アームの変形や折れたりし、故障の原因になります。

スクリーンやケースの転倒を防止する
セット後のスクリーンやパンタグラフ・アームを押したり寄りかかったり、スクリーンやパンタグラフ・アームに物をぶら下げないでください。転倒によるけがの原因になります。

不安定な場所に設置しない
脚の下に物を挟んだ状態や傾いた場所でスクリーンを拡げると、転倒によるけがの原因になります。

風が当たる場所に設置しない
屋外または窓や扇風機の前など風のあたる場所でスクリーンを拡げると、転倒によるけがの原因になります。

安全上のご注意　つづき

⚠ 注意

スクリーンに物をぶら下げたり、物をかけたりしない

スクリーンに物をぶら下げたり、物をかけたりしないでください。特にお子様がいるご家庭では、お子様がスクリーンんで遊ばないように注意してください。転倒や、指を挟む等のけがの原因になります。

スクリーンの面に直接手を触れない

傷が付いたり汚れが付くと映写効果を損なう原因になります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

スクリーンの面に文字などを書かない

スクリーン面に書いたものは筆記用具の種類を問わず消すことができなくなります。

スクリーンを折ったり、スクリーンに寄りかなど乱暴な扱いかたはしない

スクリーンが汚れたり、破損の原因になります。

保管するときは立てかけない

水平にして保管してください。壁に立てかけて保管すると、倒れてけがの原因になります。

スクリーンの上げ下げや、フットの出し入れは強い力で操作しない

※必ずハンドルベースを持ってゆっくり操作してください。

スクリーン裏のパンタングラフ・アーム部分やケースで指を挟む等のけがの原因になります。

スクリーン裏のパンタングラフ・アーム部分が破損し、転倒によるけがの原因になります。

フットを出していない状態で設置・収納を行わない

フットが出ていない状態で設置・収納を行うとスクリーンが転倒し、けがの原因になります。

ロックが不完全な状態で移動させない

ロックが不完全な状態で移動させるとケースが不用意に脱落し、スクリーンを汚したり破損の原因になります。必ずカチッと音が鳴るまで押してください。

使用・設置に関するご注意

次のような場所には置かないでください。

- 雨や水がかかる場所や湿気の多い場所
- 直射日光が当たる場所
- 暖房器具や火のそばなどの高温の場所
- 水平でない場所
- 油、ほこり、金属粉の多い場所

※スクリーン面は出荷前に充分乾燥させていますが、使い始めは薬剤の臭いがすることがあります。
お使いいただいていくうちに自然に消えますが万一、臭いがきついときは窓を開けて風通しを良くし、数日乾燥させてください。

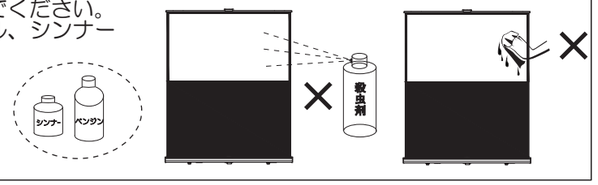
お手入れのしかた

●スクリーンのケースの汚れは柔らかい布でふいてください。
汚れがひどいときは、水で布をしめらすか、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよくしぼってふき、乾いた布で仕上げてください。

●スクリーン面のほこりをとるときは乾いた布または柔らかいブラシで軽く払ってください。スクリーン面のお手入れの際は、転倒しないように必ずフットを出して行ってください。

※スプレー（掃除用、殺虫剤、整髪用など）をかけないでください。
※スクリーン面を水で湿らせた布、ベンジンやアルコール、シンナーなどでは拭かないでください。

変質・変色・塗装はがれの原因になります。

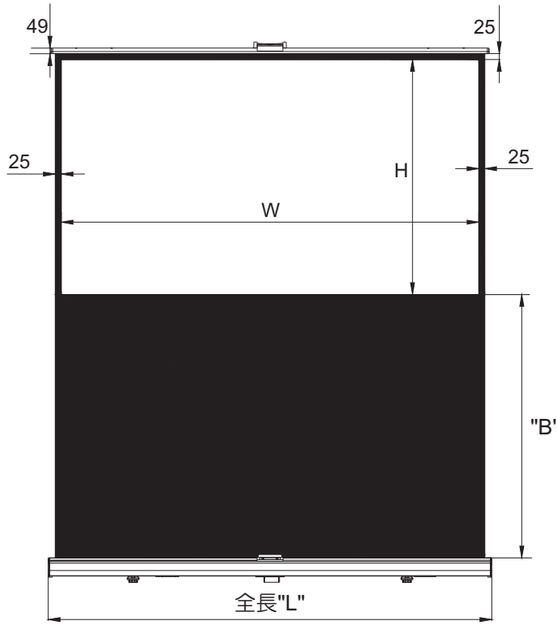


廃棄について

地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。会社等でお使いのときは、会社の廃棄ルールに従ってください。

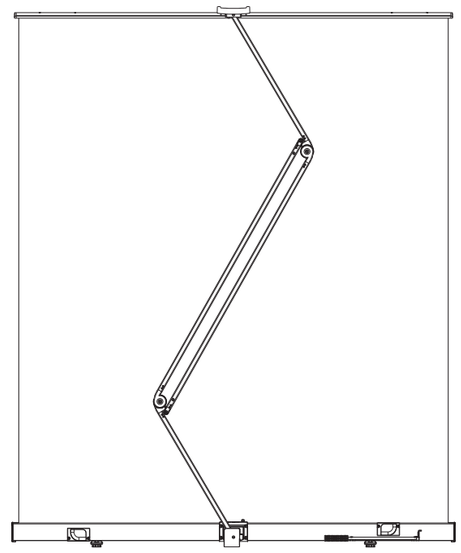
スペック

フォーマット	インチ	イメージサイズ WxH(mm)		最高位置 "A"（mm）	下マスク "B"(mm）	脚幅 (mm）	収納時サイズ (幅("L") x奥x高)(mm)	梱包サイズ (幅("L") x奥x高)(mm)	重量（kg）	
		W	H						本体	梱包
4:3	60	1220	910	1747	660	360	1350X121X150	1410X153X172	6.7	8.1
	80	1630	1220	2117	720	360	1760X121X150	1820X153X172	8.5	10.4
16:10	80	1723	1077	2022	793	360	1853X121X150	1913X153X172	8.2	10.2
4:3	100	2030	1520	2347	650	360	2160X121X150	2220X153X172	9.0	10.8

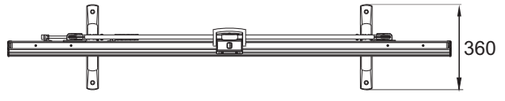


前面図

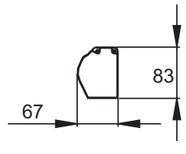
側面図



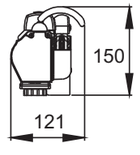
背面図



スタンド使用時



ケース側面図

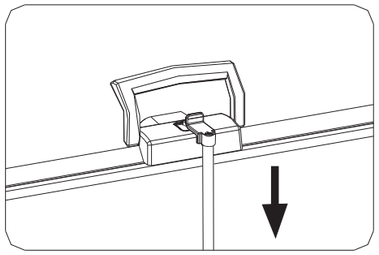
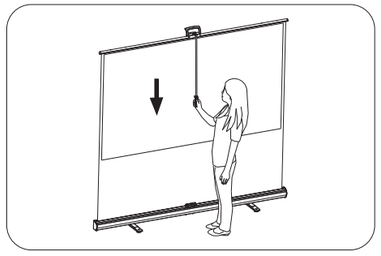
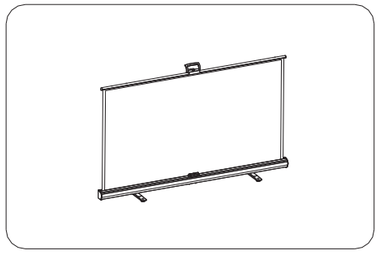


収納時断面図

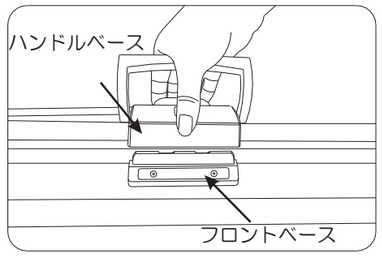
収納方法

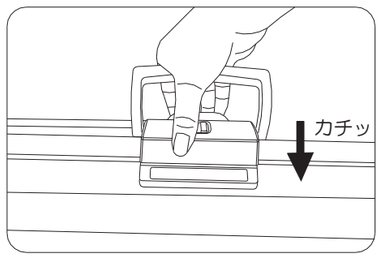
1 スクリーンを下げる

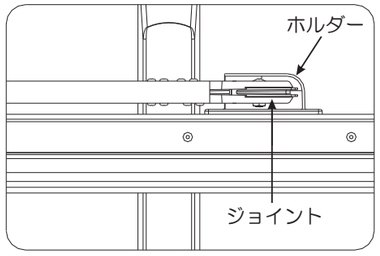
①付属のアップダウンバーをハンドルベースの上に引っかけて手が届く位置まで下げてください。

②手が届く位置まで下げたらハンドルベースを持ち、フロントベースにカチっと音がするまで押し込みスクリーンをケースに収納します。



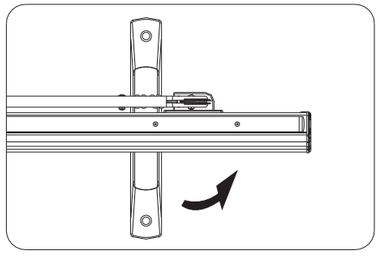
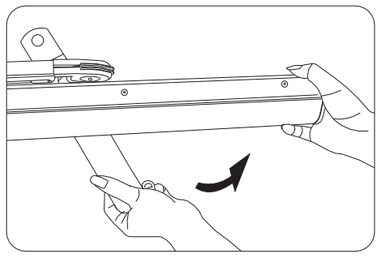
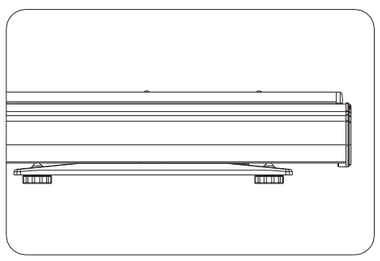




◆スクリーンを収納する際、左右一緒に入らないことがありますが**不良ではありません。**

2 フットを収納位置にもどす

①ケースを持ち上げ、ケースと平行になるように左右のフットを90度回転させて収納します。

⚠ 収納・保管のご注意

※スクリーンを引き下げる際は、必ずハンドルを握ってスクリーンの前から行ってください。トップバーの部分を握ると指を挟みけがをする恐れがあります。

※フットを収納する際はゆっくりと注意して行ってください。勢いよく行うと指を挟み、けがをする恐れがあります。

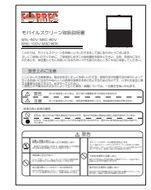
※使用しないときは水平にして保管してください。壁に立てかけて保管すると、倒れてスクリーンが傷ついたりけがの原因になります。

付属品

本体

アップダウンバー
（スクリーン裏に収納）

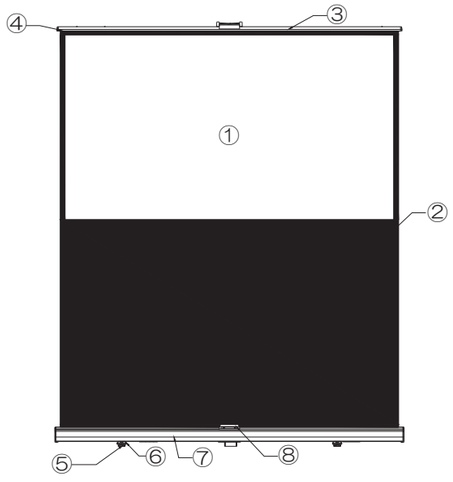
取扱説明書



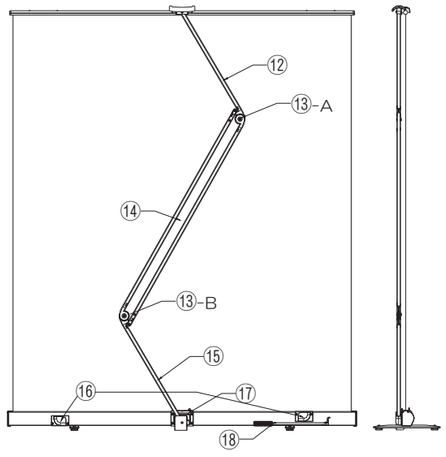
保証書

※MSC-60インチは付属しておりません。

各部の名称

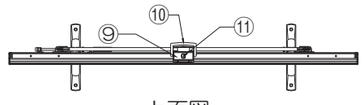


前面図

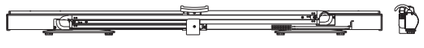


背面図

側面図



上面図



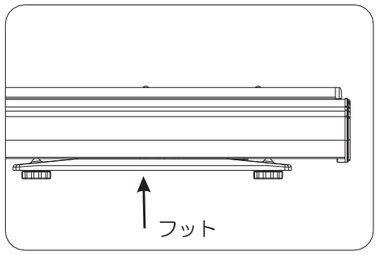
収納時背面図

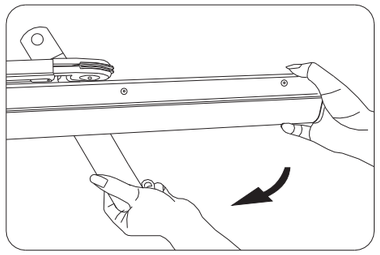
①	スクリーン面	⑦	スクリーンケース	⑬	-A 上部回転ジョイント -B 下部回転ジョイント
②	マスク面	⑧	フロントベース	⑭	パンタグラフ・アーム
③	ショルダー	⑨	ハンドルベース	⑮	ボトムアーム
④	トップバー	⑩	ハンドル	⑯	ホルダー
⑤	フットアジャスター	⑪	ロックボタン	⑰	リアベース
⑥	フット	⑫	アッパーアーム	⑱	アップダウンバー

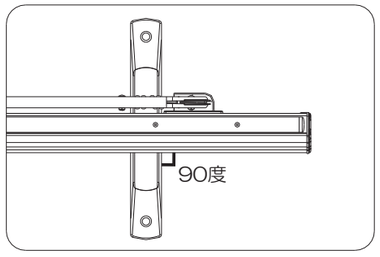
セット方法

1 フットを拡げる

ケース底に付いている左右のフットを90度回転させ、スクリーンを自立させます。



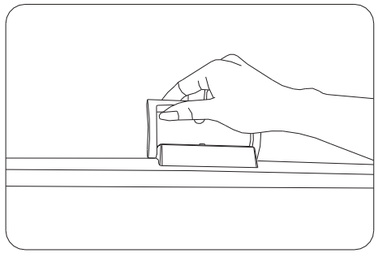


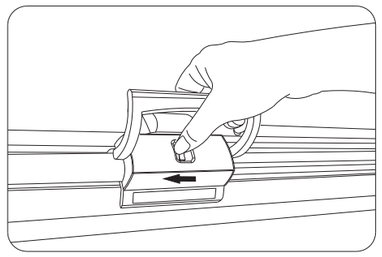


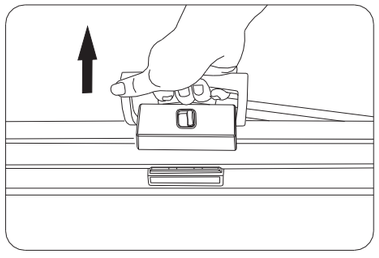
2 スクリーンを引き上げる

①上部中央に取付けられているハンドルをしっかり握り、ロック(緑色) を矢印の方向に親指で押し、解除されたらゆっくりとまっすぐ上へ持ち上げます。

◆ロックは解除後右側にもどります。

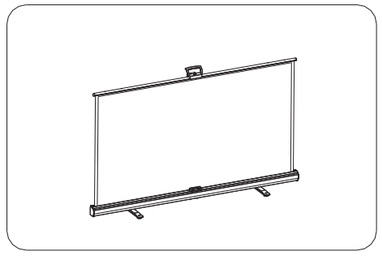


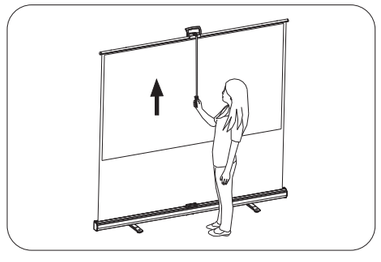


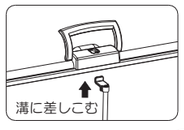


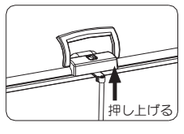
②途中までスクリーンを引き上げ、付属のアップダウンバーをハンドルベースの溝に差しこんで押し上げてください。

◆トップバーとスクリーンの間に隙間ができる場合がありますが、スクリーンの平面性を保つための構造です。不良ではございません。









セット方法　つづき

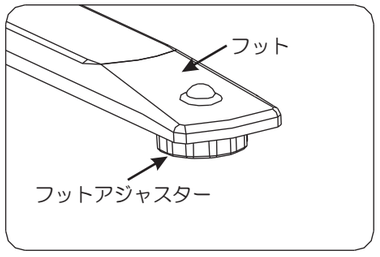
3 スクリーンの直立調整

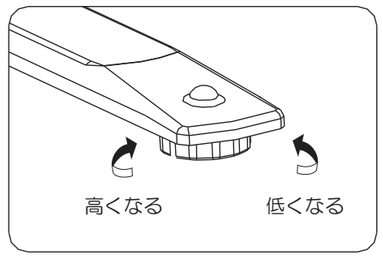
①設置する床面の状態によってはスクリーンが床面に対して直立しないことがあります。この場合はフットアジャスターで調節します。

【前側に隙間がある場合】
フットを横から見た時、前側に床との隙間がある場合は前側のフットアジャスターを時計回りに回転させてフットの前側を高くして調節します。この状態でスクリーンが傾斜している場合は、左右の前側フットのフットアジャスターを同じ回数回転させて高くしていき、直立するまで調整します。

【後側に隙間がある場合】
フットを横から見た時、後側に床との隙間がある場合は前側のフットアジャスターを時計回りに回転させてフットの後側を高くして調節します。この状態でスクリーンが後傾している場合は、左右の前側フットのフットアジャスターを同じ回数回転させて高くしていき、直立するまで調整します。

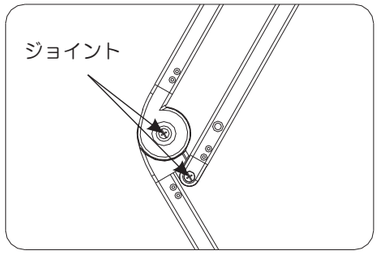
◆回転させすぎると外れてしまうのでご注意ください。





②スクリーンのバランスを保たせるには、ジョイント部のネジをしめてスクリーンのバランスを調整します。

◆調整にはプラスドライバーをご用意ください。



⚠ フット、スクリーンを拡げる際のご注意

※フットを拡げる際はゆっくりと注意して行ってください。勢いよく行うと指を挟み、けがをする恐れがあります。

※スクリーンを引き上げる際は、必ずハンドルを握ってスクリーンの前から行ってください。トップバーの部分を握ると指を挟みけがをする恐れがあります。

※手前に引いたり後ろに押しながらスクリーンを引き上げないでください。スクリーンのアームが前傾・後傾する原因となりますので、必ずゆっくりとまっすぐ引き上げてください。